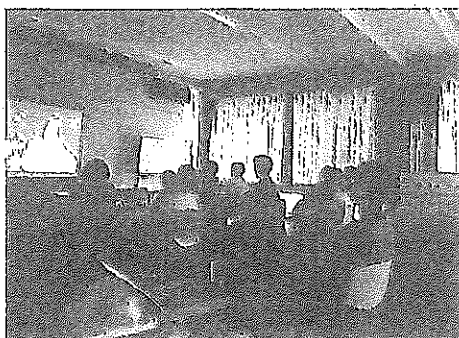


事業名	子どもの教育環境についての啓発活動「ゆめパのじかん」上映会 & 講演会
団体名	トーキョーコーヒー鴨宮 with ゆりゆりルーム
事業の内容	<p>・「ゆめパの時間」映画上映会と茶話会 2回開催 参加者：55人 参加費：500円 実施場所：社会福祉法人宝安寺社会福祉事業部「むすび処茶のまある」 川東タウンセンターマロニエ 会議室 大井町生涯学習センター 小田原市生涯学習センターけやき <u>計4回上映</u></p> <p>・フリースペースえん創始者 西野博之氏の講演会 参加者：73人 参加費：1000円 実施場所：小田原市生涯学習センターけやき</p>
事業の成果	<p>今回の啓発活動にあたり、教職員の方々にもぜひご参加いただきたく、招待状とお手紙を添えて各小中学校へ配布いたしました。「子どもにとって良い環境」をつくるには、学校・家庭・地域・行政という四つの主体による協働が不可欠です。</p> <p>激動する社会・経済情勢は、家庭や地域にも大きな影響を及ぼし、そこで育つ子どもたちの心理にも少なからぬ影を落としています。その結果、不登校の児童生徒数は年々増加しており、喫緊の課題として全国的に認識されています。</p> <p>今回の西野博之氏による講演は、長年不登校の現場に携わってきた知見を共有することが主題でした。映画『ゆめパの時間』の上映会と効果相乗し、教職員や行政がこの課題にどう向き合うべきか、そして子どもだけでなく誰もが生き生きできる社会をどう築くべきか、多くのヒントが提示されました。</p> <p>講演のアンケート集計結果を添付いたします。ぜひご一読いただき、今後の取り組みの一助となれば幸いです。</p>
今後の事業展開	<p>今後は、それぞれの団体で、身近な方々のケアに重点を置きながら活動し、不登校児童生徒の家庭が孤立せずに、希望を見出すことができるような支援をしていきたいと考えています。</p>



様式第13号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

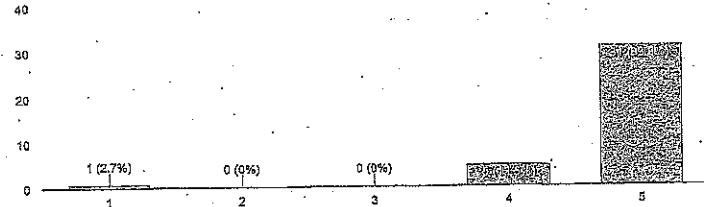
科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1 事業収入	34,700	映面上映会 500円×55人、パンフレット販売
	58,000	講演会 1,000円×58人(ボランティア15名:0円)(計73人)
2 補助金	150,000	市民活動・協働応援制度補助金
3 自己資金	347	
収入合計	243,047	

2 支出の部

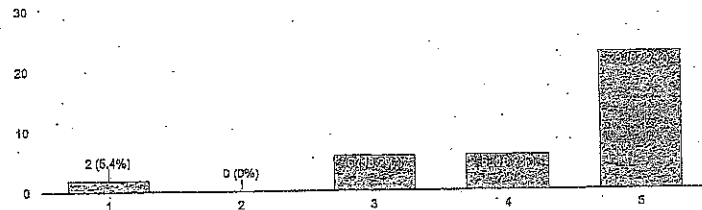
(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1 会場費	39,160	けやき、マロニエ、大井町学習センター
2 映面上映費	90,040	上映2日分、上映作品DVD返却送料
3 宣伝広告費	27,650	チラシ代ほか
4 講師謝礼	69,853	講演会謝金
5 交通費	3,120	講師交通費(1,560円×2)
6 交際費	6,506	講師接遇用のお茶代ほか
7 消耗品	1,718	上映会開催にあたって必要となったもの(紙コップ、クリアファイルほか)
8 補助金返還金	5,000	
支出合計	243,047	

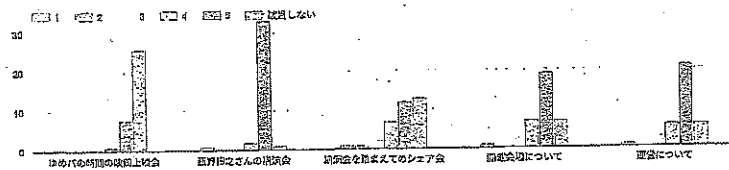
1. 今回の企画は、「自分らしく生きる力を育む」ことについて、考えられる機会となりましたか？
37件の回答



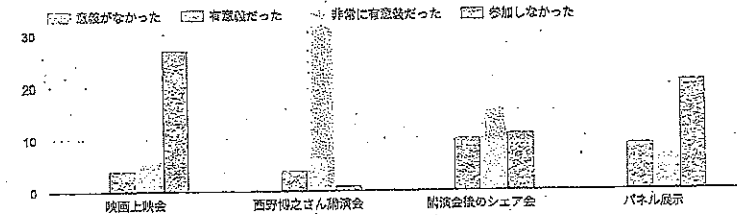
2. ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分はありましたか？
37件の回答



3. この企画に関する以下の項目について、どのくらい満足されましたか？



4. どのくらい有意義だと感じましたか？



5. 映画上映会について(ご感想等)8件の回答

- ・不登校は、根っこを育てている時間なのかなと思っている。花を咲かせる水をやるのが、大人の役目かなと思います。
- ・そもそも「学校」そのものが、間い直す時期に来ているのではないのかと、一番心に残った。子ども達の言葉、まず、大人が幸せになってくださいとの事、考えさせられました。
- ・「生きる」ことを感じられる映画でした。大人も、これからの時代必要な場所だと思います。改めて、生きることをもっと楽しみたいと思いました。
- ・ゆめパークの存在を知ることができた。
- ・こんな素敵な場所があったのかとワクワクした気持ちになりました。私も何かやりたい！！と強く思いました。
- ・できた子ども達のその訳が知りたかった。ゆめパークは、自分が描いている理想だった。実現化した西野さんのパワフルさ、少しでも見習いたい。

6. 西野博之氏の講演について(ご感想等)21件の回答

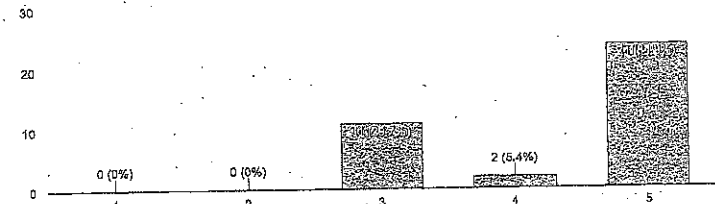
- ・お話を聞いてみたかった西野さんの講演会。とても、楽しみにしてきました。小田原市のチラシもたくさんもらって、小田原は、とても子どもに対してこんなにも動いているのかとビックリでした。小田原、すごい！！
- ・自分自身が学生時代不登校で、現在は子育て中です。不登校当時は、学校に行けるように周囲の大人も自分も頑張れたけれど、結局、うまくいかず苦しい思いをして、今、我が子が同じにならないように、自分と似ているところを心配したり、先回りして、いろいろしていたが、「何とかかなる」等、今日のお話で、気が楽になりました。

- ・教員向けに作られていたが、参加者の中にどれだけ教員が居たのでしょうか
 - ・自身が自由に育てられてきて、礼儀だけは、厳しかったので、今でも、それが根付いています。社会に出たうえで、すごく助けられる部分が多く、今日の講演会で親への感謝がより一層、増しました。
 - ・子どもの不登校に対して何ができるのかと、支援の方法について考えていましたが、「支援員」の言葉に笑ってしまいました。子どもの存在そのものをそのまま受け入れて、子どもの気持ちを尊重し、見守ることが大切だと気が付きました。
 - ・保育士をしていますが、一斉での活動の際は、子どもを急がすような声掛けをしており、反省しました。自分が子どもだったら、夢パークのような場所は、楽しくて仕方ないと思います。(今でも行ってみたいです) 保育のあり方を見直していきたいです。「なんとかなる」を子ども達へ合言葉にできるように、していきたいです。
 - ・生きる意味を考えさせられました。
 - ・はじめて講演会を拝聴しました。いろいろと学ぶことができました。
- 学校教育に関して、中学生の保護者として、もやもやを考える事が多い中で、改めて、学校教育が変わることが望まれると思いました。
- ・感動しました。子ども、人として見る見方も、もっと「楽」にならないといけないと思いました。これまでの知識、経験を捨てて・・・
 - ・子どもに対する温かいまなざしと向き合い方について、改めて、気づかされました。
- 胸にグッとくる言葉がたくさんありました。とってもいいお話、内容もたくさんでしたが、少し、駆け足のように感じたので、もう少し、スピードダウンで聞きたかった。というのが本音です。
- ・「想い」を持続させる・・・西野さんの「命」に対する「想い」の強さは、どこから来るのか・・・素晴らしいかったです。自分にできることをしていきます。
 - ・短い時間の中で、重要なことが知れて、大変有意義でした。日々、慌ただしく生活する中で、周りと同じに、どんどん自分が流されていて、目を覚まさせていただきました。
 - ・いじめや不登校の子ども達、すべての子ども達の場所が広がってほしい。
 - ・いつかやりたい。が、早くやりたいに変わりました。命を救い、生きる喜びを感じられる居場所作りをしていきたいです。
 - ・ありのままを受け入れる西野さんの姿にとっても感動しました。得意な所に光を当てる。
 - ・自分が子どもに関わるときに大切にしている事、不登校の問題に対する考え方は、間違っていないかった。安心しました。一歩ずつ進んで、社会に対してできることも考えていこうと思いました。
 - ・子どもの現状、西野さんの長年の取り組みに、自身が、これから、どう、行動していくのかを考えていきたいと思います。
 - ・西野さんの経験されたことからの言葉に救われた気持ちになりました。大入が幸せであることの大切さを改めて、感じました。

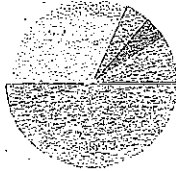
7. シェア会について(ご感想やご意見等)11件の回答

- ・シェア会ができるのも、とても良い試みだと感じました。
- ・各団体の紹介は、休憩時間の間にも、BGMの代わりに流してほしい。
- ・皆さんのお考えや経験談をたくさん聞くことができ、自分の視野が広がった気がしました。いろいろな人の話を聞くことで、子どもへの関わり方も変わると思いました。
- ・地球での横のつながりや、どうしたら居場所をもっと増やせるかどうか、話し合いができた。皆さん、大きな夢を持たれた方ばかりで、ちよてもよい話でした。
- ・より多くの方の感想等を伺えてよかったです。
- ・いろいろな方向からのご意見をお伺いできて、とても良かったです。
- ・時間が短かった。もう少し、皆さんからからの情報を聞きたかったです。とても有意義でした。それぞれの活動を写真と言葉で講演会中に紹介してもらえると、パなるより、伝わりやすいし、繋げられると思いました。
- ・もう少し時間が欲しかった。
- ・不登校の子どもを持つ親御さんの想いをシェアできてよかったです。「その子らしく」を大切にするオトンが増えてきていることに感謝する機会を得られた。

8. 今後も、子ども達にとって住みやすい地域にするために、話し合う場が必要だと思われるか? 37件の回答



9,8の質問に、「必要である」とお答えの方にお...まって話す場があれば参加したいと思われませんか。
22件の回答



- Ⓐ 参加する
- Ⓑ 参加しない
- Ⓒ 参加したいが、いろいろやっていて予定があるので、日にちや時間が取れば参加したい。
- Ⓓ 可能なタイミングがあれば参加したいです。
- Ⓔ 仕事がゆるせば、参加したい。
- Ⓕ 時間が合う時のみ参加したい。

10,9の質問より、「参加したい」とお答えの方にご質問します。

参加しやすい曜日や時間帯を教えてください。15件の回答

- ・平日の昼 4人
- ・平日 夜 1人
- ・土曜日 昼5人 夜 1人
- ・日曜(初日) 昼4人 夜1人

〔西野さんへの質問〕

・最後のお話がとても良かったです。「大人が幸せになってください」→子どもは、そういう所で、安心して生きることができます。この言葉は、素晴らしいです。

・食う・寝る・出す 親のできる気配り。これを胸に子どもとの暮らしを楽しみたいと思います。出会いを者にする力、大丈夫を届けよう。ゆる親。まずは、大人が地域の中で幸せでいること。

・大人への支援が必要な時、本人の気づいていない時、支援員がしないアプローチがよいのか？どうしたら気づいてもらえるか。

・福島県大熊町立の「学びの舎 夢の森」をご存じでしょうか？ ミヒヤエルエンズの「モモ」の世界が今を予告していたように感じます。何か、思われること、ありますか？

ゆめパは、子どもにとって本当に何が必要かを「モモ」のイメージとも重なる場所だと思いました。

・子どもの数は減っているのに、自殺する子、不登校の子が増えているのは、なぜだと思いますか？

・大人の幸せとは、何でしょうか？

・せっかくの機会なので、文部科学委員に伝えておきたいことは、何でしょうか？

・最近、中学校でも数学の時間に繰り上がり・下がりの計算が曖昧だったり、聞く力があまりないのかな？と思う場面がたくさんあります。先ほど、学習指導要領のお話も少しありましたが、西野さんが、今の小学校、中学校に求めることがありましたら、教えてください。 (琴ヶ崎市在住)

・中学生のいじめについて。いじめの事実を知って、周りの大人は、どのように対応していけば良いのでしょうか？「見守る」「ありのままの存在を肯定する」だけで、良いのでしょうか？

・子どもたちのやりたいことをられる場創りをしたいと思っているのですが、資金面の支援等、あるのでしょうか？

・いじめが小学校2年生に一番多いということですが、なぜですか？また、どんないじめ方ですか？ (いじめの内容)

・ぼくも、たまに、すごく怒られて、「ぼくなんて、いなくなればいいのに」と思うことがあります。

〔ゆめパツアーについて〕

①電車でもバスでも参加したい：8人 (家庭)

バスなら参加する：1人 (行きだけバス希望1人)

②費用について 5,000円以下なら参加する：8人 費用に関係なく参加する：2人

講演会を聞いた感想、印象に残っている話、言葉

1 「大人が幸せであれば子供が幸せ」というのが印象的だった

(解説)

子供権利条約制定の最終段階で子供たちが自分達の意見をまとめて大人に提示してきた話がありました。その中で子供たちが訴えたことが

「大人が幸せでいてください」という衝撃的な言葉。

2 「くう ねる だす」だけでいい

(解説)

大人がやらなければいけない事はこれだけ。子供に食事を与え、寝かせ、排泄させる。親は、生きるために必要なこれらを提供できればそれでいいのだ。

3 「支援具に気をつける」

(解説)

良かれと思つての声かけも、「支援してやっている」と匂わす「支援具」を出してしまうと聞いてももらえないし、むしろ反発されます。

4 「人生ゆっくりで良い」「親が幸せであること」

5 「なんとかなる」を合言葉にしていきたい

6 「小2がいじめのピーク」に驚いた。

7 自分が、「生まれてきてくれてありがとう」から欲が出てきていることに気がついた8 子どもに内向的なところがあると、自分のように不登校になってしまうのでは？と不安になることがあったが今日の講演を聞いて気持ちが少し楽になった。

9 子供が不登校、自閉症もあり、自分を責めてしまっていたので西野さんのお話で勇気づけられた。

10 夢パークでの「子供の本質を大切にしている教育」を見て自分の子供との関わりに取り入れたいと思った。

11 不登校の子供は「困った子ではなく、困っている子」

12 今はどこでも学べる時代、

「学びたいことを、学びたい時に、学びたいように、学ばせてあげよう」

13 学校教育に携わっている方でも「学習指導要綱なんて廃止してしまえ！」という意見もある。14 「新しい学びの当たり前」を考えてみる。これまでの教育システムのままでは時代に合わない

15 今の教育は一人一人には適応していない。

16 学力とは「出会いをものにする力」

意見と思ひ

1 「競争社会からのプレッシャー（学校内でも）」社会が変わる必要がある。

2 「子供の存在を一人の人として尊重し対等に関わる。」

3 「居場所を持つことの大切さと難しさ」子供達自身で行ける場所が地域に一つあれば・・・

4 親自身が弱屈な中で育ってきている

5 子供一人で外に出るのが難しい

6 ゲームの世界、架空の世界では子供は育たない

7 「市民会館跡」をうまく使えないか？ (小田原市)

8 不登校をのり超えたその経験が生きる

9 親にも居場所と経験が必要

10 不登校について

それぞれのケースによってやれる事は違うゆっくり行くのが良いが動きは必要

11 トラブルが起きた時の対策として、見守ることの大切さ(喧嘩を止めない)

12 「普通はこう」という考えを捨てる一人一人の考え方、この尺は違う。

13 怒りをコントロールするには自分の物差しを捨てる。

14 悩んでいる人と繋がるのが難しい

15 教育でも支援でもない場所が必要

16 (川崎夢パークのような) 大きな場所を作るのではなく今ある場所とネットワークを繋げて行くのが現実的

17 少しでもやりたいこと、挑戦したいことを支えていきたい

18 大人もみんなで楽しむ居場所作りが必要

19 不登校の経験から 夢パークのようなところが広がってほしい

20 子どもたちが「やりたい」と思うこと、持っている力を伸ばすことがとても大切だと思った。

21 高校でつまづいた時、親が背中を押してくれ、自由にさせてくれた。礼儀だけ大事と言われ感謝している

22 不登校児がいると、親も孤立し、外に出れなくなる。

23 守られる権利と選ぶ権利が大切だが、選んだことがない子はどうしたらいいかわからない。24 子供は回復する力を持っている。安心できる環境が必要。(大人の安心が大きく影響する)

25 親がいいと思って子供にとっては苦になることもある。

26 学校に行き辛い気持ちはよく分かる。子供達が成長していく過程でどのようにその力を育てて行くか？

27 世代を超えた交流ができる場や時間は素晴らしい。

学校、先生について

①学校が変わることが必要(保護者は訴えていく)

②学校内に不登校児でもいられる場所が必要

③一人一人のケースを見れていない

④一斉教育しかできていない

⑤発達障害の特性を先生が理解する必要がある

(わかるうとする姿勢と眼差しが必要)

⑥小〜中 幼〜小に上がる時にトラブルが多い

システムとしてうまくいっていないと感じる

⑦学校の先生もカリキュラムの問題で大変

ご参加の皆さんについて (ご自身の活動について)

1 駄菓子屋をやっている(運営に子供が関わる)

- 2 プレーパーク、放課後の居場所をやっている
- 3 放課後デイサービス勤務
- 4 居場所カフェ主宰、居場所作りに試行錯誤している
- 5 子ども食堂ボランティア
- 6 小田原で、ふれあいパークのような活動をやっていた。いろんな活動をおすることで、自分の居場所や自信になっていた
- 7 オルタナティブスクール主宰
- 8 不登校児の第三の居場所主宰
- 9 保育園職員
- 10 小学校教師
- 11 平塚子供の居場所 赤ちゃん広場主宰
- 12 トムソーヤの森 声の万華鏡
- 13 MOA 小田原 (小田笑ん会)
- 14 まんま遊〜と
- 15 にないてNPO法人
- 16